gitについて

計算機科学コース 中澤篤志

参考:計算機科学実験及び演習のための Git(Yusuke Miyazakiさん)

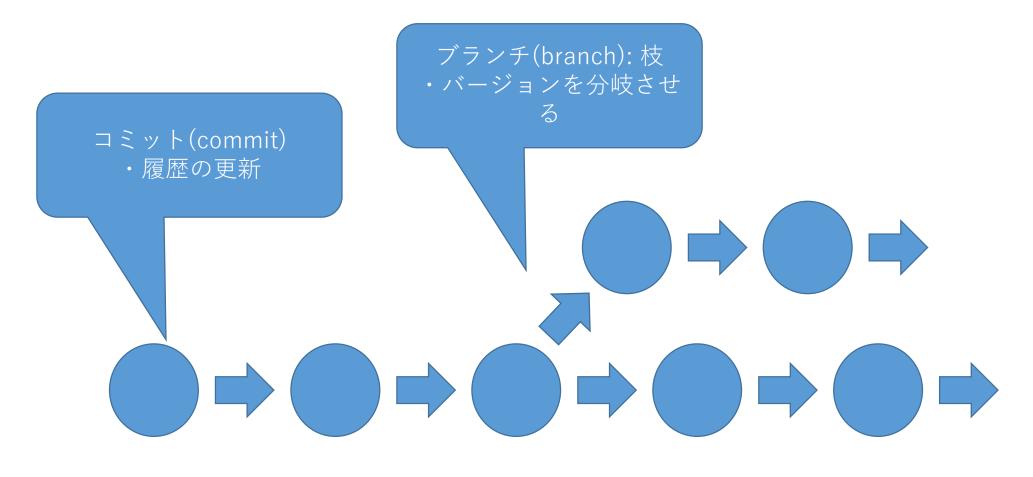
バージョン管理システムとは

- ・バージョン管理システムとは、コンピュータ上で作成、編集されるファイルの変更履歴を管理するためのシステム。特にソフトウェア開発においてソースコードの管理に用いられる。
- バージョン管理システムの最も基本的な機能は、ファイルの作成日時、変更日時、変更点などの履歴を保管することである。これにより、何度も変更を加えたファイルであっても、過去の状態や変更内容を確認したり、変更前の状態を復元することが容易になる。

要は

- プログラムのファイルを管理できる
- プログラム変更点などを管理できる
 - 誰が変更したか?を記録
 - 誤った変更を元に戻せる
 - 何を変更したかを確認できる
- Gitは現在最もよく用いられているバージョン管理システムの 1 つ

Gitの管理イメージ



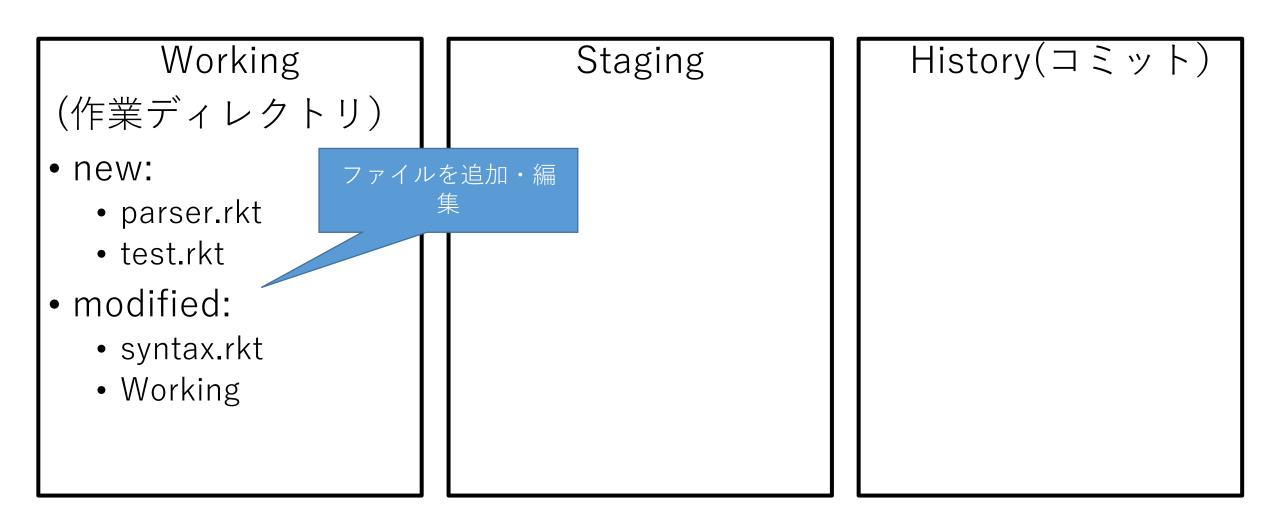
世代管理

Branchの使い方の概念(本実験ではあまり使わないが覚えておく)

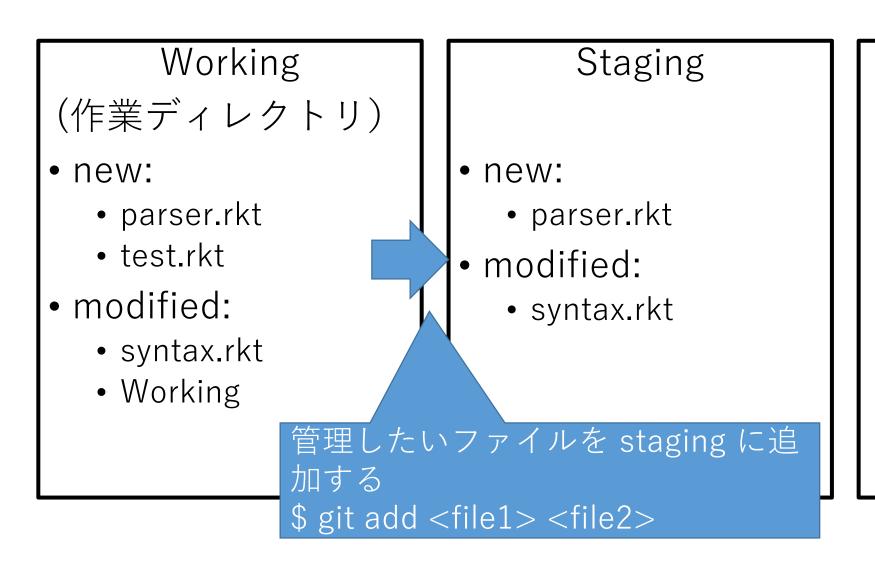
学生2のブランチ 学生1のブランチ masterブランチ

世代管理

管理の流れ



管理の流れ(2)



History(コミット)

管理の流れ(3)

Working

(作業ディレクトリ)

- new:
 - parser.rkt
 - test.rkt
- modified:
 - syntax.rkt
 - Working

Staging

- new:
 - parser.rkt
- modified:
 - syntax.rkt

History(コミット)

- message
- hash
- new:
 - parser.rkt
- modified:
 - syntax.rkt

Staging の内容をコミット (履歴に登録) \$ git commit -m "<message>"

リポジトリの作成

- バージョン管理を始めるために, 履歴を格納するGit リポジトリ を作成する
- 最初に一度だけ行えば良い
- プロジェクトのルートディレクトリで git init
- 該当するディレクトリ内に .git という隠しフォルダができる

状態の確認

• 現在の Git リポジトリの状態を確認するには git status

• Working Dir. で追加・変更された内容やStaging に追加された 内容が表示される

管理 (1)

• 機能の追加やバグの修正などきりの良い時点でコミットし状態 を保存しておく

• 新しくバージョン管理下に置くファイルや変更したファイルを Staging に追加する

- git add <file1> <file2> ...
- git add . (すべての新規作成あるいは変更されたファイルをadd)

管理(2)

Staging の内容をコミットして履歴に登録する
 git commit -m "<commit message>"

- コミット時にはメッセージを付加する
- 変更内容を書いておくと後で分かりやすい
 - 例1: パーサーを実装
 - 例2: 意味解析で~~~になるバグを修正

履歴の閲覧1

・履歴を閲覧する

git log

コミットの一覧がハッシュ・メッセージ・日時などとともに表示される

- それぞれのコミットはハッシュ (SHA-1) で一意に特定できる
 - 例: 5a00b5712a039bfea1e8055206ab697e3081247d
- オプションを付加するともっと色々見れる

履歴の閲覧2

特定のコミットの変更内容を見るgit show <commit>

最後のコミットまで戻る

• 変更に問題あった場合、最後のコミットまで戻れる

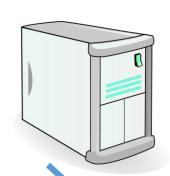
git checkout <file or dir>

gitとリモートサーバ

- gitはリモートサーバに対して、ファイルを更新・ダウンロード を行うことができる。
- 分散開発(多人数でファイルを管理する)のために有効
- githubなどの商用サービスもある
- 通信プロトコル:ssh (secure socket shell), http, httpsなどが 利用できる

gitとリモートサーバ

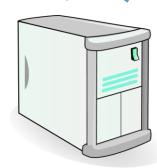
マスターファイ ルの管理 バージョン管理



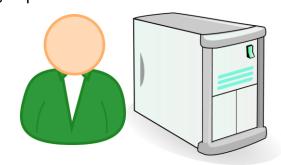
ファイルをダウンロード git clone

ファイルを更新 git push

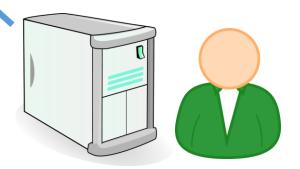




ユーザーAの開発PC



ユーザーBの開発PC



ユーザーCの開発PC

リモート管理用コマンド

- git clone <url> 既存のリモートレポジトリを複製する
- git remote add <name> <url>

リモートレポジトリ(URL)に名前をつける

git checkout <branch>

リモートリポジトリのブランチからローカルリポジトリのブランチを作成

git push <repository> <refspec>

リモートリポジトリにブランチを作成

今回の学生実験では

- 計算機室端末からのみアクセスできるgitサーバよりファイルを ダウンロード(git clone)し、その後は手元でgitによる管理を行 う。
- ダウンロード元は、
 - http://10.223.1.242/~le2soft/2016marioAl.zip

手元の端末にダウンロードする

- git clone http://10.223.1.242/~le2soft/2016marioAl.zip
- 2016marioAl.git フォルダができるので、その中で

```
git init
git add .
git commit -m "first commit"
```

• とし、その後は適宜add, commitしていくこと